

科目名	形成外科学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8 回	時間数	15 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							1年 後期
【授業の目的・ねらい】 音声言語と深く関連する口唇、口蓋裂等の先天的奇型やその他の奇型、変性を伴う身体疾患について理解する。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 発声発語器官の形態異常および機能不全への形成外科的なアプローチについて理解できる。 国家試験に則した基礎的知識を身につける。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 口唇口蓋裂や口腔咽頭腫瘍における治療の基本的概要が理解できる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	形成外科学の定義を理解できる。						
2	治療総論 形成外科学の概要について理解できる。						
3	治療各論 ①組織移植 ②プロテーゼについて理解できる。						
4	" ③解剖、感染症について理解できる。						
5	" ④外傷について理解できる。						
6	" ⑤腫瘍について理解できる。						
7	" ⑥顔面の発声および形態異常、唇顎口蓋裂について理解できる。						
8	" ⑦顔面神経麻痺、頭蓋、顔面の異常(症候群)について理解できる。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】							
【準備学習・時間外学習】 授業内容の復習が必要です。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。							